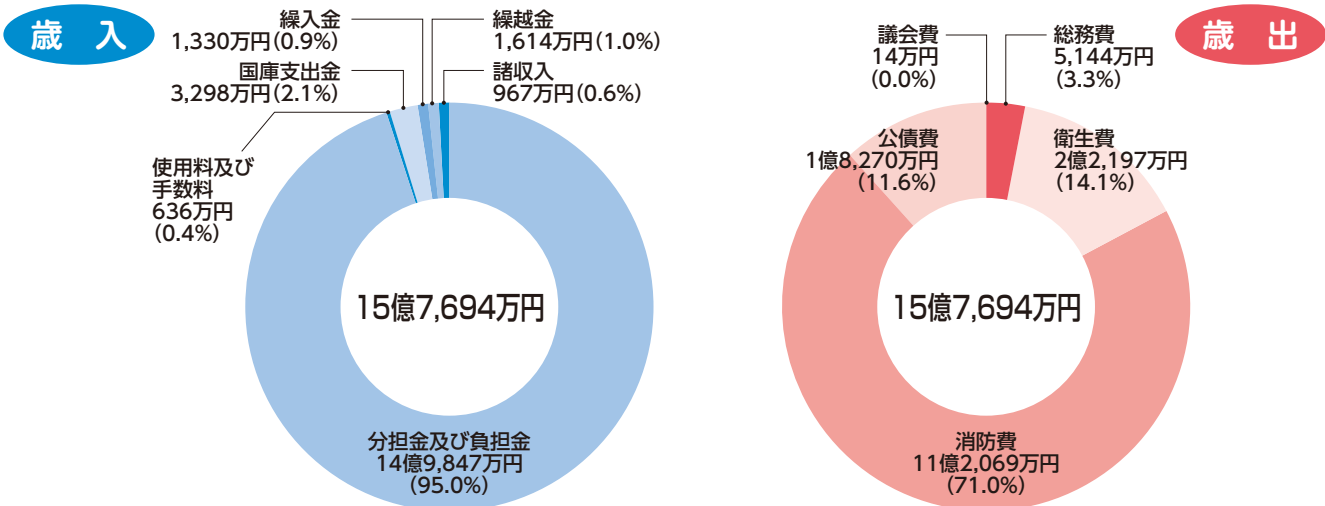


令和元年度釜石大槌地区行政事務組合会計

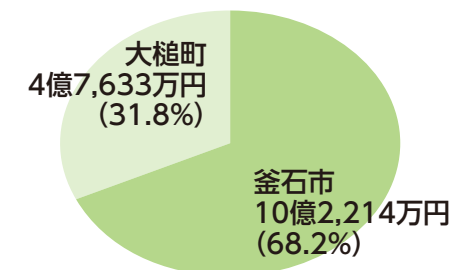
決算のあらまし

※四捨五入の関係で合計額などが合わない場合があります

釜石大槌地区行政事務組合は、釜石市と大槌町からの分担金などによって、共同で消防業務や、し尿処理事業を行っています。10月26日に開催した同組合議会定例会で認定された令和元年度決算の概要をお知らせします。



分担金及び負担金の内訳



令和元年度 行政事務組合の主な事業

■消防業務 (△はマイナス)				
	火災件数	前年度比較	救急件数	前年度比較
釜石消防署	8	△1	1,482	38
大槌消防署	3	0	827	6
合 計	11	△1	2,309	44

■し尿処理事業 (△はマイナス)			
	搬入量 (kl)	構成比率 (%)	前年度比 (%)
釜 石 市	1 万 4,764	56.9	△2.8
大 槌 町	1 万 1,188	43.1	△8.2
合 計	2 万 5,952	100.0	△5.2

○令和元年度開示請求などの状況について

令和元年度において、釜石大槌地区行政事務組合情報公開条例に基づく開示請求および審査請求は、開示請求2件に対し開示2件、審査請求はありませんでした。
釜石大槌地区行政事務組合個人情報保護条例に基づく、開示請求および審査請求はありませんでした。

問い合わせ 釜石大槌地区行政事務組合 事務局 総務課 ☎31-1336

森林経営管理に関する意向調査を実施します

平成31年4月に運用が始まった「森林経営管理制度」は、手入れの行き届いていない民有林かつ人工林を、適切に経営管理することで、森林の多面的機能の発揮と林業の成長産業化を目指しています。
市は、市内を13区域に分けて、順次、森林所有者の意向調査を実施します。この調査で経営管

理権を市に委ねることに同意があった森林は、森林所有者と市の間で作成する「経営管理権集積計画」に基づき、適切な経営管理が図られます。
意向調査は、1月下旬に第1期調査区域となる和山、栗林地区から対象森林を抽出し実施します。対象となる森林所有者に調査票を配布しますので、ご協力をお願いします。

問い合わせ 市農林課 林業振興係 ☎27-8426

令和2年度

第1回市政懇談会を開催しました

市が進めている計画や主要事業などを説明し、市民の皆さんの意見や提言を今後の市政運営に生かすため、10月23日から市内8カ所で開催しました。市は次の4項目について説明しました。

令和元年度台風災害検証結果について

市は、令和元年台風第19号による被害が特に大きかった市内7地区で検証事業を実施しました。検証の結果、土砂・流木による水路能力の低下などが被害の原因として挙げられ、対策として排水路や河川が本来の流下能力を維持することや、ハードとソフトを組み合わせた対策を行うこと、緊急性に応じた対策工を行うことなどを説明しました。また、市道箱崎半島線盛土崩壊事故に係る原因検証結果についても報告しました。

日本海溝沿いの最大クラスの津波による浸水想定について

内閣府は、令和2年9月11日に岩手県沿岸の津波浸水想定を公表しました。防潮堤などが破堤した場合、中妻地区まで浸水するというシミュレーション結果が示されています。これを受けて岩手県は現在、悪条件下での「県内最大クラスの津波浸水想定」の検討を行っています。釜石市は内閣府の公表よりも、令和3年度中に公表予定の岩手県の浸水想定が大きくなる可能性があります。
※内閣府が公表したシミュレーション結果は、市のホームページをご覧ください



新市庁舎の建設について

新市庁舎建設については「復興のシンボルとして釜石らしいまちづくりの拠点となる庁舎」を基本理念とし、令和元年7月に基本設計を完了。現在は実施設計の作業を行っています。市政懇談会では、天神町を建設予定地とした建築計画概要の他、配置計画、事業費などを説明しました。昨年の台風第19号や日本海溝沿いの津波シミュレーションの発表など、建設に係る新たな検討課題が生じたため、現在も庁舎建設検討委員会などで検討協議を行っています。

第六次釜石市総合計画について

第六次釜石市総合計画は、令和3年度～12年度までの10カ年の計画です。目指す釜石の将来像を「一人ひとりが学びあい世界とつながり未来を創るまちかまいし～多様性を認めあいながらトライし続ける不屈のまち～」とし、この将来像を達成するための5つのまちづくりの基本目標と、10項目の重点施策を掲げています。今後はパブリックコメント（意見募集）などを行い、令和3年3月に計画を策定する予定です。

質疑応答 一部を紹介します

- Q** 大雨による被害を防ぐため、市民からの沢や川などの情報を受け入れる態勢を構築してほしい
- A** 住民の皆さんの一番身近な窓口である各地区生活応援センターに伝えていただければ、適切に対応する。または、市の担当部署に直接情報を知らせしてほしい
- Q** 最大クラスの津波が来た場合、天神町が浸水すると聞いたが、新市庁舎の建設に影響はないのか
- A** 日本海溝沿いの最大クラスの津波が来た場合、天神町に建設する新市庁舎は1m弱浸水する見込みである。現在、設計の見直しを行っており、庁舎自体が浸水しないような形で整備したい
- Q** 第六次総合計画の中で地域医療の充実をうたっているが、10月から県立釜石病院の内科の診療体制が変更になった。医師数、診療科数、病床数が減となっている。市としての考えを伺いたい
- A** 県や各市町村と連携し、医師を目指す人のための奨学金制度を継続し、県内の医師確保に努める取り組みを進めていきたい
- Q** 最大の課題は人口減少と思う。何かしら歯止めをかけるような取り組みをするべきだ。学校現場で市政を理解する取り組みを行うことが大事ではないか
- A** 若い人の移住定住を重点施策に掲げ、力を入れて取り組んでいく。また、第六次釜石市総合計画の作成に当たり、子どもたちもまちづくりについて協議する場に参加した。学校としても子どもたちに釜石のまちづくりについて興味を持たせながら取り組んでいきたい
- この他にも「新市庁舎ができた場合、今の庁舎はどうなるのか」「旧小佐野中学校跡地にセンターを造るようだが、地域住民に説明がない」などさまざまな意見や質問が出されました。

問い合わせ 市広聴広報課 広聴広報係 ☎27-8419